

授業科目名	保育原理	担当教員名	西林 幸三郎
必修/選択	必修	開講学年・学期	1年 前期 (年間開講数 2講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等	教育の基礎理解に関する科目-教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 保育の内容・方法に関する科目	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 幼稚園園長としての実務経験に加え、小学校校長としての学校運営に関わる実務経験を活かして授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	保育の基本となる乳幼児の発達や特性等、子ども理解ならびに保育の内容や方法等保育者としての役割を理解し、その専門性を高めるための方法を学ぶ。また、保育の現状と課題について考える。		
到達目標	<p>教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想</p> <p>1-教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想</p> <p>(1)教育の基本的概念：教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解する。</p> <p>①教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。</p> <p>②子ども・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。</p> <p>(2)教育に関する歴史：教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解する。</p> <p>①家族と社会による教育の歴史を理解している。</p> <p>②近代教育制度の成立と展開を理解している。</p> <p>③現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。</p> <p>(3)教育に関する思想：教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解している。</p> <p>①家庭や子どもに関わる教育の思想を理解している。</p> <p>②学校や学習に関わる教育の思想を理解している。</p> <p>③代表的な教育家の思想を理解している。</p> <p>2-保育原理</p> <p>(1)保育の意義及び目的について理解する。</p> <p>(2)保育に関する法令及び制度を理解する。</p> <p>(3)保育所保育指針における保育の基本について理解する。</p> <p>(4)保育の思想と歴史の変遷について理解する。</p> <p>(5)保育の現状と課題について理解する。</p>		
テキスト	アクティバート保育学0 1「保育原理」汐見稔幸・無藤隆・大豆生田啓友 (ミネルヴァ書房)		
参考書・参考資料等	○「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) ○新聞記事等適宜紹介		
成績評価の方法	○学習への意欲と興味関心…授業態度・レポート等の提出：30% ○内容の理解…定期試験：70%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	*オリエンテーション *保育とは何か ・保育の誕生と戦前の幼稚園・保育所 *「子ども主体の保育・教育」へ *保育を原理的に考える	(1)-①, (1)-②,(2)-①, (3)-③	
第2回	*保育と子ども理解 ・子ども理解とは何か ・「子ども理解」の根底にあるもの *「子ども理解」から始まる遊びの援助 *「子ども理解」を深めるために	(2)-②,(2)-③	
第3回	*保育の内容 ・保育内容とはなにか ・保育内容の変遷 ・幼稚園教育要領等における保育内容	(3)-①,(3)-②	
第4回	*保育の方法 ・保育の方法とは何か ・望ましい保育の方法を考える ・子どもを中心に保育者がつないで発展する保育の方法		
第5回	*保育の計画と評価 ・保育における計画と評価とは何か ・保育の質の向上をはかるために	(3)-①	
第6回	*保育と子育て支援 ・子育て支援とは何か ・保育の場で行われる子育て支援 ・何が子育て支援を困難にしているのか	(3)-①	
第7回	*健康・安全と保育 ・子どもの健康と安全についての理解 ・子どもの発達を保障する健康・安全な保育のために ・0～2歳の子どもの健康・安全と保育 ・3～5歳の子どもの健康・安全と保育	(3)-①	
第8回	*保育者の専門性と資質向上 ・法令における保育者の専門性 ・保育者の専門性の特徴 ・保育者の資質向上		
第9回	*保育の歴史に学ぶ ・保育の種類 ・保育の思想とその歴史的背景 ・日本の幼稚園保育の展開 ・日本の保育所保育の展開	(1)-①,(2)-②,(2)-③	
第10回	*多様な子どもの理解と保育 ・外国籍家庭の子どもの理解と保育 ・貧困家庭の子どもの理解と保育	(1)-①	
第11回	*多様な子どもの理解と保育 ・障がいのある子どもの理解と保育 ・すべての子どもがうれしい保育をするために	(1)-①	
第12回	*学校や地域との連携のなかで行う保育 ・連携は何で大事なのだろう ・エピソードから小学校や地域との連携を考える *学校との連携 *地域との連携	(1)-②,(3)-①,(3)-③	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第13回	* 保育における保護者支援 ・保護者支援の基本      ・保育の専門性を活用した保護者支援	
第14回	* 保育の専門性と質の向上 ・保育の質の向上に向けて      ・園内研修と園外研修	(3)-③
第15回	* 保育の評価と改善 ・ 学校評価と第三者評価 * 保育所等における苦情解決制度	
定期試験	筆記試験	